

ステアリングスイッチ対応トヨタ純正ナビ用 リモコン受信装置 取り付け説明書

はじめに

本器を取り付ける際は、予めバッテリーのマイナス側ターミナルを取り外し、感電、短絡事故が発生しないよう、十分に気をつけて作業を行ってください。短絡（ショート）を発生させると最悪の場合、各種ECU（車に装着されているコンピュータ）が破損し走行不能に陥ることも予想されます。充分予備知識を蓄えた上で、取り付け作業にとりかかるところをお勧めします。また、取付けに関するサポートは出来る限りさせていただきますので、お気軽にメールをください。

本器は、ステアリングスイッチ対応のトヨタ純正ナビを、赤外線リモコンによりコントロールする赤外線受信装置です。コントロールできる機能は、チャンネル送り／戻し、音量＋／－、モード切替です。動作原理としてはステアリングスイッチが出す信号を本器が同じ仕様で出力するもので、本器をナビのステアリングスイッチ配線に割り込ませる事で実現しています。

特徴としては、赤外線パターン学習機能を搭載しているため、ほとんどのリモコンを本器のリモコン装置として使用できる点です。例えば、家庭で不要になったテレビ用リモコンを使って、本器を装着したナビをコントロールすることも出来ます。トヨタ純正ナビ+後席ディスプレイの組み合わせをご使用の方は、本装置を取り付け、後席ディスプレイ用リモコンを使って、後席からテレビチャンネル、音量、表示モードを変更することが可能になりますので、いちいちナビ本体のボタン操作が要らなくなります。

それでは、本器が快適なカーライフの一助となれば幸いです。

取付け準備

車体への取付けにあたり、事前に次の準備が必要です。

準備物

- リモコン（後席ディスプレイリモコン、家電用リモコン等、またはそれに順ずるリモコン）
- 結線作業、ナビ取り外しに必要なニッパー、ペンチ、ドライバー、絶縁テープ等
- ACC電源接続用エレクトロタップ（自車配線太さに合致するもの）ナビコントロール線用の3個は付属しています
- テスター、または検電ペン（ACC電源配線を探すときに必要です。HC等で売られている数百円程度のもので十分です）
- タオル（インパネ保護用）

本器の配線接続は5本です。ACC電源、アース、ナビコントロール配線3本です。

作業は、ナビ裏での配線が主な作業となります。当然ですが、ナビ本体をインパネからある程度引き出すこととなりますので、あらかじめナビ周辺のインパネ表面に傷がつかないように、タオル等で覆ってください。ナビの取り外し方は車種により異なりますので、事前に調査をお願いします。

また、受信装置本体は出来るだけ、後からアクセスできる位置に取り付けてください。取り付け後にご用意いただいたリモコンで”どのボタンにどの機能を割り当てるか”を受信機に学習させる作業があります。そのときに基板上のディップスイッチを操作することとなりますので、受信機をインパネ裏等に隠したい場合は、結線完了後に学習作業を実施し、最後にインパネをもとに戻す作業に移ってください。

本装置の赤外線受光部は、インパネ表面あるいは見通しの良い場所に両面テープで貼り付けることになります。

受光部の設置位置をお決めください。出来るだけさまざまな角度から見通せる場所をご検討ください。

隠れた場所ですとリモコンからの赤外線が届きませんので、リモコンによる操作が出来なくなります。

また、直射日光が直接当たる場所（ダッシュボード上など）もなるべく避けた方が無難です。

取り付け手順

※実際の作業に移る前に、取り付け手順を最後までよく読んでいただき、事前に作業内容を理解される事をお勧めします。

※車種毎の作業資料が準備されている車種につきましては、そちらも併せてご確認ください。

1. ナビ本体の取り外し方法を確認します。

事前に自車の調査をお願いします。ナビ周りインパネの取り外す順序が重要となりますので、必要ならばディーラ等より情報を入手してください。

2. 赤外線受光部の設置場所を確認します。

直射日光がなるべく当たらず、かつ出来るだけ見通せる場所でお決めください。このとき、受信機本体から受光部までの配線設置ルートも一緒にご確認ください。

3. インパネ表面を傷つき防止のために準備したタオル等で覆います。
4. ナビ本体をインパネから引き出します。
ナビ周りのインパネを慎重に取り外し、ナビ本体を固定しているネジを取り外します。
結線作業が出来る位置まで、ナビ本体を慎重に引き出します。無理に引き出すと断線の恐れもありますので、少しずつ確認しながら引き出してください。
5. ナビコントロール配線を結線します。
まず、ナビコントロール配線（ステアリングパッドスイッチ用配線）に、本装置の対応する配線を結線します。
具体的な結線先は別紙の 配線図 をご確認ください。
6. ACC電源線とアースを結線します。
ACC電源線は、テスターまたは検電ペンでナビに供給されている配線から探し出して結線します。
アース線は適切なボディー金属部に接続してください。ナビ固定用のネジ部でも大抵はOKのはずです。
7. リモコンを学習させます。
用意したリモコンのお好きなボタンを受信器に学習させます。
詳しくは別紙の リモコン学習設定手順書 をご確認ください。
8. 動作を確認します。
リモコンを学習させたら、ナビを元に戻す前に、受信装置が正常に機能するか確認します。
ACC電源をオンにして、学習させたリモコンボタン操作で希望とおりの機能が動作するか確認してください。
正常に動かない場合は作業を一旦中止し、ご連絡ください。
9. 赤外線受光部を設置予定場所まで配線を引き回します
10. 受信機本体を設置します。
受信機本体は、後から簡単にアクセス可能な場所に設置してください。
後々、別なりモコンを学習させる場合に作業が楽になります。
11. ナビ本体を元に戻します。
ナビ本体を慎重に元に戻して、インパネも戻します。
12. 赤外線受光部を両面テープで固定します。

以上で終了です！ お疲れ様でした！

本装置が対応するナビ

<トヨタ販売店オプション ナビ>

NHXT-W56D
NHDN-W56G
NHDN-W56
NH3T-W56
NHDP-W56S
NDDA-W56
ND3T-W56

※上記以外にもW54・W55系のステアリングスイッチ対応ナビ（2003/10頃以降）にも殆ど装着可能です。

<トヨタ純正ナビ装着車両>

2003/10以降の車両で、ステアリングスイッチがオプション設定されている車両

例えば エスティマ、アルファード、ラクティス、マークX、ウィッシュ、ハリアー、アイシス 等です。

※ステアリングスイッチが装着されていなくても本装置を装着することでリモコン操作は可能になります。

免責事項

1. 本装置の装着は自己責任のもとで実施願います。
2. 本装置装着による結果、いかなる事態になろうとも製作者に責は無いものとします。